

第 351 回 湯島・本郷文学散歩

6K



日時 R7年2月14日(金) 9時45分
 集合場所 JR御茶ノ水駅 聖橋口下車(注裏面) 徒歩5分お茶の水公園 役員が旗を持ち誘導します。
★受付終了後、各自で湯島聖堂を詣でて9時45分までにはお茶の水公園へ再集合下さい。

(コース) お茶の水公園 → 10分(20分) 神田明神 → 15分(20分) 湯島天神 → 8分(10分) 麟祥院 → 8分(45分) 東大構内(竜岡門～東大赤門～東大正門～安田講堂～池之端門) → 上野5分 不忍池 解散 京成上野徒歩8分

湯島聖堂

元禄時代、林羅山が上野忍ヶ丘の私邸に建てた孔子廟「先聖殿」を5代将軍綱吉が移築し「大聖殿」と改称し、付属の建物を含め「聖堂」と呼ぶように改めた。

神田明神

正式名称は「神田神社」。神田・日本橋・秋葉原・丸の内・旧神田市場・築地市場など108ヶ町会の総氏神。江戸城の鬼門除け、江戸総鎮守として崇拝された。野村胡堂の小説、銭形平次の石碑がある。

麟祥院

徳川3代将軍家光の乳母、春日の局の菩提寺として知られている。寛永元年(1624)に春日の局の隠棲所として建てられ、ここで余生を送り寛永20年65歳で死去した。

湯島天神

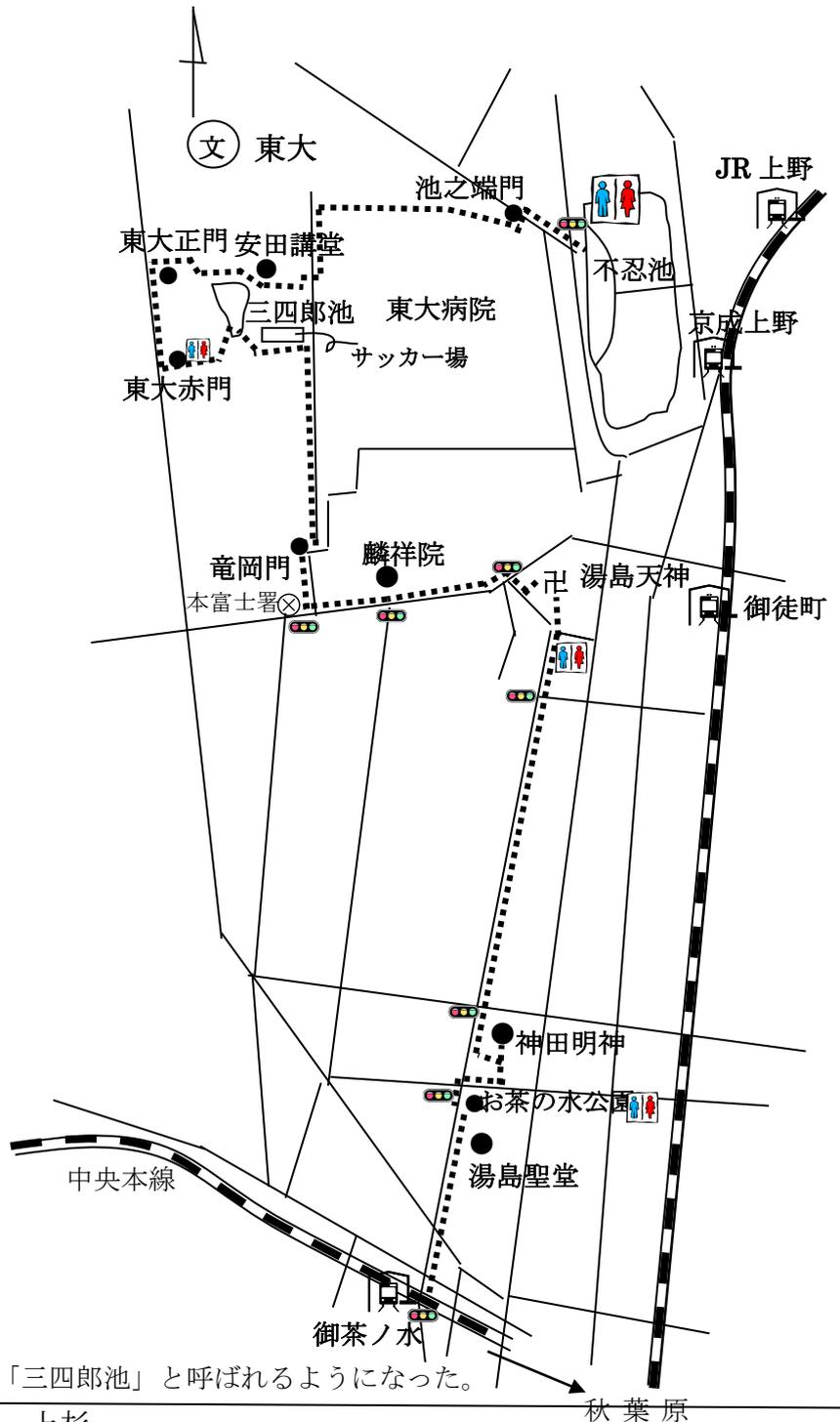
古来より江戸・東京における代表的な天満宮であり、学門の神様として、菅原道真公を祀っている。境内の梅の花も有名で「湯島の白梅」の歌は大ヒットした。

東大赤門

現在の東大は旧加賀藩の敷地で、11代将軍家斉の娘、溶姫(やすひめ)が藩主前田斉泰に嫁ぐ際、造営されたのが御守殿門である。それが赤門として残されている。

三四郎池(今回はパス)

この池は、江戸時代は加賀藩邸の庭園の一部だったが、明治に入って東京帝大に移管され夏目漱石の小説「三四郎」にちなんで「三四郎池」と呼ばれるようになった。



下見 R6.12.26.(木) ☀ 四宮、加藤、上杉

誘導(先頭) 2班(市大12～市大20期) 前: 四宮(吉田、浅野、熊谷) 後: 原
 1班(老大大19～市大11期) 前: 上杉(井上、美濃輪、田中) 後: 加藤

船橋市いきいき同窓会「歩こう会」